SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

静岡市西部駿河峰附近の瀬戸川累層群中の石灰岩層とこれに伴う巨斑晶玄武岩層

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-08-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鮫島, 輝彦, 内田, 俊太郎 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00006104

静岡市西部駿河峰附近の瀬戸川累層群中の石灰岩層とこれに伴う巨斑晶玄武岩層

鮫島輝彦※・内田俊太郎※

静岡市西部の牧ケ谷，赤目ケ谷，宇津ノ谷及び吉津の四部落に囲まれた地域の地質調査を行い，特にこの地域の瀬戸川累層群中の石灰岩層とこれに伴う巨斑晶玄武岩層の分布を明かにしたので簡単に報告する。

調査地域は藁科川と丸子川にはさまれた低い山地で，海抜４１０ｍの駿河峰を最高点とする。この地域の山腹斜面はやや急峻であるが，露出はあまり良くない。地域の北東部は暁新統と考えられている(6)瀬戸川累層群の天徳寺層群が分布し(1)(2)．地区の南東寄りには高草山アルカリ火成岩体が分布している。

天徳寺層群はこの地区内では一般走向Ｓ４０°Ｅ，傾斜５０°Ｗを示し，下部は頁岩質互層，また上部は砂岩勝互層となっている。頁岩は一般に珪質暗灰色のもので，局部的に黄鉄鉱塊を含んでいる事がある。砂岩は主として中粒のものであるが時に細粒の部分も見られる。風化面は黄汚色を呈するが新鮮な面では灰色乃至灰青色である。宇津ノ谷では炭化植物片を含むものがあった。

石灰岩層は下部の頁岩層中に介在し，主なものが二層存在する。産女より駿河峰，大炉を経て宇津ノ谷に至り，その延長が岡部町に達する一層は，層厚の変化少く極めてよく連続し，本地域における天徳寺層の一層準を示す鍵層となると考えられる。この石灰岩は層厚４０ｍ乃至８０ｍで，風化面では灰白色を呈しているが，新鮮な割れ口では灰黒色を示す珪質不純な石灰岩で．泥灰岩と呼ぶ方が適当である。研磨面及び薄片下に小形有孔虫や其他同定不能な多数の生物化石が見出される。斉藤常正氏は宇津ノ谷峠の本層から暁新世型の *Globorotalia* を発見した(6)。

他の一層はさらに幾分泥質不純な石灰岩層で，牧ガ谷より観昌院坂にそい泉ガ谷にわたって分布しているが，この層は層厚の変化激しく泉ガ谷以南には分布していない。

産女から宇津ノ谷に至る石灰岩層はその下位に薄い凝灰岩層を距てて，巨

※文理学部助教授　※教育学部３年

斑晶を有する玄武岩層を伴っている。この玄武岩層は厚さ5m内外で，産女南方1Km附近で50m程度に厚くなっている他ではほぼ均質な厚さを示し，産女から宇津ノ谷迄延長5Km以上も連続して分布している。

この玄武岩層は径1cm乃至3cmの変質した斜長石の巨斑晶を多量に含む特異な岩種で，これと同種のものが瀬戸川累層群中に既に数箇所から産出が知られている。島田市笹ヵ久保(3)，仝田代東方1Km(3)，藤枝市天王山南方600m(3)(4)，静岡市水見色姥ヵ淵(5)，静岡市羽鳥洞慶院北東500m(5)及び仝大野田西方1Km附近(5)で，殊に天王山のものは部分的に著るしい柱状節理を示し，又局部的に巨斑晶が集中して殆ど石基が認められない様な部分も知られている。

従来の調査者の見解によると，このような巨斑晶玄武岩は貫入岩とされていたが，本地域の石灰岩層に伴うものはその上・下位に薄層ではあるが明瞭な凝灰岩層を伴ない，この部分には全く破砕されていない石灰藻，小型有孔虫等多数の生物化石が検出され，又玄武岩が局部的にガス孔の多い組織を示す事などからこの岩層は熔岩であると推定され，石灰岩の堆積はこの塩基性火山活動と密接に関係しているものと考えられる。

巨斑晶玄武岩は変質した巨斑晶長石の他に新鮮な普通の大きさの中性長石斑晶を多少含有し，石基は普通輝石，中性長石，磁鉄鉱及び緑泥石より成り時にガス孔を充塡して沸石が存在する。石基の緑泥石の一部はオリーブ石の変質物であるかも知れない。

巨斑晶は完全にソーシュル石化された自形を呈する斜長石が主で，稀に緑簾石化した角閃石の自形結晶も認められる。巨斑晶は含角閃斜長石岩を源とする捕獲晶であると推定され，自形を呈する斜長石巨斑晶の結晶の角が丸味を帯び，時には液滴型に溶蝕されているものも見られる。

文　　献

1）　千　谷　好之助（1931）：7万5千分1静岡図幅並に説明書

2）　槇　山　次　郎（1950）：日本地方地質誌中部地方P101

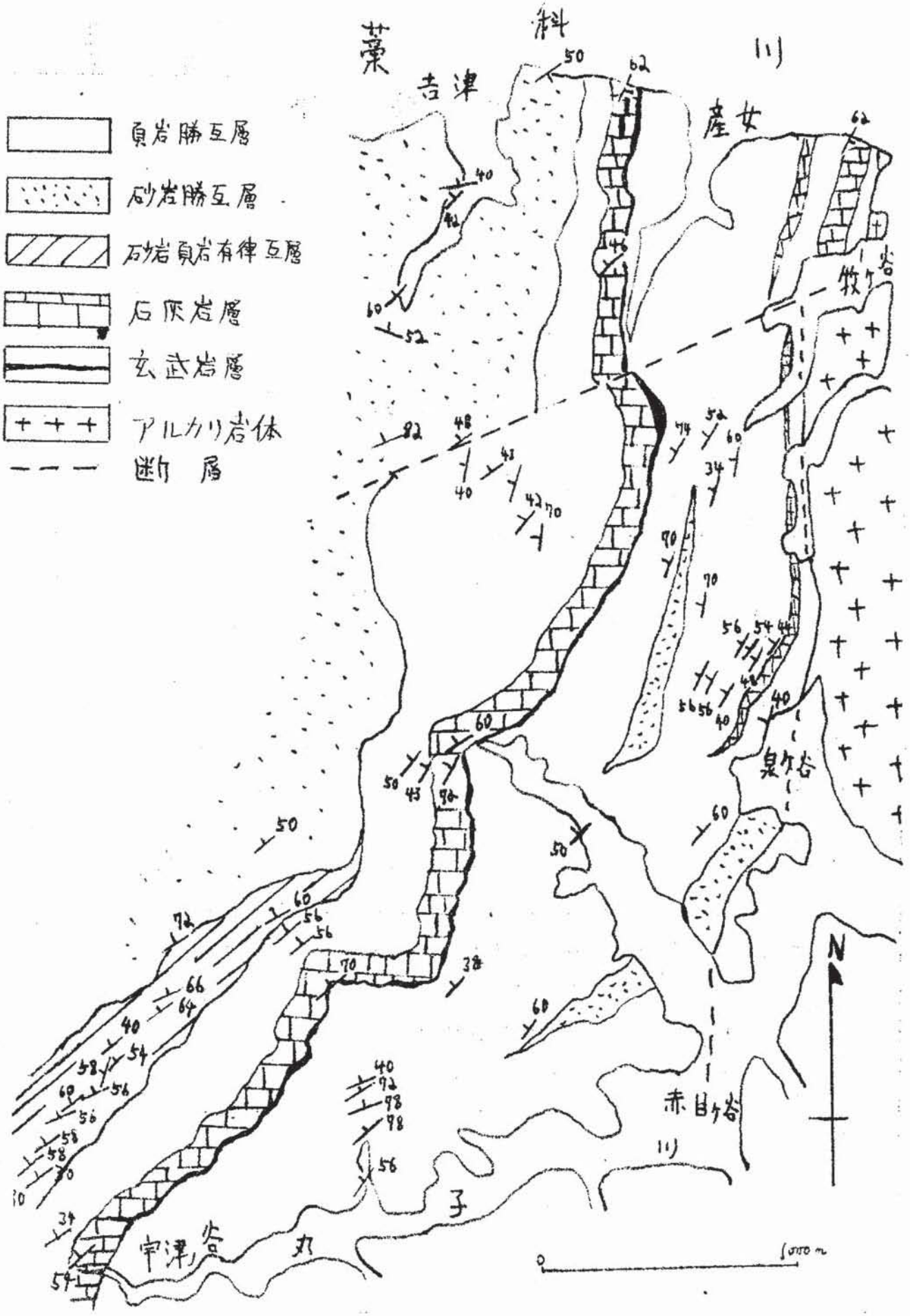
3）　松　本　修　一（1953）：島田市北方の地質並に火成岩の分布，静岡大学教育学部卒論手記

4）　春　田　博　男（1960）：藤枝市北方の地質，地学しずはた

No.22　P20

5）橋本行雄（1957）：酒匂川下流北方地域の地質
地学しずはた　No.13　P7

6）浅野　清（1962）：有孔虫化石群から見た日本の古第三系
東北大地質研報　No.57
P17～20


藁科
吉津
産女
牧ヶ谷
泉ヶ谷
赤目ヶ谷
宇津ノ谷峠
N
礫岩勝互層
砂岩勝互層
石灰岩層
玄武岩層
アルカリ岩体
断層